

支援は、ひとりじゃない。

わたしは、わたしのままでいい。

実践発表会 ドキュメント翔

ミニドキュメンタリー

さまざまな関係の中で
わたしを生きる

実践報告

1

児童部門 児童発達支援センター びよん

その「抱っこ」を あえて手放す勇気

～音楽と遊びがひらく5歳児の自立への扉～



”抱っこ”と激しく泣き続ける5歳の男子。

視覚障害と知的障害を持つ彼にとって、抱っこは唯一の安心材料、だがそれは、自立の機会を奪う事でもある。

音楽療法士の「あえて抱っこをしない」という助言にスタッフは葛藤しつつ挑戦する。

音楽や手遊びを通じ、彼は自力で気持ちを切り替え、笑顔で他者と関わる大きな成長を見せた。「育児が楽になった」という家族の未来をも広げた、挑戦する支援の記録。



実践報告

2

成人部門 生活介護事業「STUDIO UZU/naruto」

描く、踊る、 唯一無二の世界観

～ご本人らしさを引き出す「待つ支援」～

独自の絵を描き続ける秀樹さん。周囲に染まらない彼の「自分軸」を支えるのは、納得するまで「待つ」スタッフの支援だ。

次の一筆を待つ、区切りが来るのを待つ。この関わりが彼の表現力を引き出し、「ともいきアート」や「ナルトマルシェ」で多くの人を魅了するアーティストとしての活躍へと繋がった。

周囲を笑顔にする「ヒデキズワールド」と、支援の模索を届ける。



2026年

9/6

日

13:00 - 16:00

入場無料

定員 150名



茅ヶ崎市コミュニティーホール
(茅ヶ崎市役所 分庁舎 6 階)

ともに語り、ともに考える時間をご一緒しませんか？

アドバイザー

名里晴美氏

(社福) 訪問の家庭
理事長

アドバイザー

斉藤達之氏

(社福) 大樹
事務局長

コーディネーター

松永徹氏

(社福) 翔の会

お問い合わせ



社会福祉法人 翔の会
担当：松戸（まつど）

☎ 0467-54-5424

公式サイト



Instagram



ニコリホッドドキュメント

NHD 写真展

(実践発表会当日は、
スライドショーを開催。)



普段の活動のなかで、メンバーの皆さんが見せる、おもわず「いいね」を押したくなる数々の瞬間を、皆さんと共有したく写真展を開催いたします。

場所 第一カッターきいろ公園
(中央公園)

日時 2026.10.18 (SUN)